

報 告 ②

「令和元年度ふれあいバス等懇談会の開催結果」

令和元年度ふれあいバス等懇談会 開催結果

○開催日程と場所、参加者数

	開催日	時 間	場 所	参加者
1	7 月 16 日(火)	14:00～15:30	陵南福祉センター	29 人
2	7 月 18 日(木)	14:30～16:00	新鵜沼台コミュニティセンター	11 人
3	7 月 22 日(月)	14:00～15:30	緑苑コミュニティセンター	11 人
4	7 月 26 日(金)	10:00～11:30	中央ライフデザインセンター	5 人
5	7 月 29 日(月)	14:45～16:15	各務福祉センター	11 人
6	7 月 31 日(水)	14:30～16:00	那加西福祉センター	5 人
7	8 月 3 日(土)	13:30～15:00	各務原市産業文化センター	12 人
8		18:30～20:00	各務原市産業文化センター	2 人
9	8 月 20 日(火)	13:30～15:00	稲羽コミュニティセンター	9 人
10	8 月 23 日(金)	14:00～15:30	尾崎中央ふれあい会館	15 人
11	8 月 26 日(月)	14:00～15:30	鵜沼福祉センター	16 人
12	8 月 27 日(火)	13:00～14:30	川島ライフデザインセンター	13 人
13	8 月 30 日(金)	14:30～16:00	蘇原コミュニティセンター	15 人

合計 154 人

○ふれあいタクシー乗り方教室

ふれあいタクシー運行地区での懇談会開催後、ふれあいタクシーの乗り方教室を開催。

会場： 陵南福祉センター、各務福祉センター、鵜沼福祉センター

内容： 予約方法についてオペレーターとのやり取りを再現、実際の車両を持ち込んで見学

1. 全体を通しての意見

要望・質問等	回答・対応方針
- 各停留所の間隔に、決まりはあるのか。 - バス停までが遠い。	停留所の間隔は最大で500メートルとし、住宅密集地は約 200 メートルごとを停留所の設置目安としている。ただし、道路事情などの関係で難しい場所もある。
運転免許証を自主返納した際の支援は、何回も申請ができるのか。	自主返納者の公共交通利用のきっかけづくりを目的としており、1 人 1 回としている
岐阜バスが行っている、運転経歴証明書の提示 で半額になるサービスは、この先も続くのか。	- 半額になるサービスは 1 度きりではない。 - 終了時期については、今のところ決まっているとは聞いていない。
東西線の土日祝日の運行がないのはなぜか。	東海中央病院までの足の確保を目的としており、平日のみの運行としている。土日祝日の運行は、運転手不足もあり実現していない。
東西線を瞑想の森まで通してあるのはなぜか。鶉沼からは、瞑想の森方面よりも市役所方面まで一本で行きたい。	墓参り・近隣の医療機関・慈光園などへのニーズがあるため通している。鶉沼地区から市役所方面には、鉄道での移動を勧めている。
市の予算を増やしてバスの台数を増やしてほしい。	運転手不足に伴い、事業者の方でも路線を少しでも減らす動きがあり、予算を増やしても解決できない状況にある。
- 鉄道とバスの乗り継ぎがしにくい。 - 東海中央病院での乗り継ぎが不便に感じる。	全部の便が接続しているわけではない。どこで、どのように乗り継ぎをされているのかを乗降調査等で把握し、ダイヤのあり方を考えたい。

● 那加線の運行本数を増やしてほしい。	● 駅から遠い地区に配慮して、左右両回りを設定している。尾崎から市役所前へは、両方向で概ね 1 時間に 1 本を確保している。
● 市の予算を増やしてバスの台数を増やしてほしい。	● 運転手不足に伴い、事業者では路線を少しでも縮小する動きがあり、予算を増やしても解決できない状況にある。
● もっと JR 蘇原駅に近いところに停留所を設置してほしい。	● 駅前のスペースの問題から現時点では困難。蘇原駅周辺のあり方については、現在 JR と協議中。

その他意見	
● 認知症対策としても出かけることは大切であり、目的をもって外出する機会を確立する必要がある。ふれあいバスもその手段の 1 つなので、市役所にも相談しながら利用を考えていきたい。	
● バスに乗って出かけようと考え、サークル活動などで乗るように心がけている。1 時間に 1 本は運行があり非常に便利なため、ふれあいバスを引き続き残してほしい。	
● 東西線と那加線の時間が近く、乗り間違えたことがある。乗り間違い防止ダイヤ改正は非常にありがたい。	
● 鵜沼地区・緑苑地区から東海中央病院まで 1 本で行けるようにしてほしい。	
● 市が苦勞してダイヤを組んでいることを感じた。住民としては知ることが大切であり、足りないところは意見するといい。理解を深めたうえで、公共交通を使っていくと免許自主返納に対する不安が減っていくと感じた。	

2. 各地区での意見(抜粋)

【陵南】

- ・朝日1丁目に住む人は、歩いて大通りまで出ることが難しい。こまめにふれあいタクシー停留所を作り、他の公共交通とつなげれば、もっと利用が増えると思う。
- ・丸子町は市民プールまで出かけなければ、ふれあいバスに乗ることができない。市民プールのタクシーからバスの乗り継ぎを10分ほどに短くしてほしい。長時間待つ場所がない。市民プールまで20分間歩けるという高齢者は少ないため、考えてほしい。

【新鵜沼台】

- ・病院に行きたいというのは、体が悪いから行きたいということである。そのため、乗り降りを最小限にし、目的の場所まで1本で行きたい。

【緑苑】

- ・集会施設ができたため、鵜沼線『緑苑南』～『センター前』のルートを見直してほしい。

【中央ライフデザインセンター】

- ・利用者が少ないため、廃止にする便があるという説明であったが、それは調査等をしているのか、単に人口が少ないために利用者が少なく廃止という判断か。
- ・自治会で立ち上がっている事業について聞きたい。

【各務】

- ・ふれあいタクシーの停留所を、五島医院の近くにしてほしい。現在は、『ローソン各務おがせ店』の停留所が最寄となるが、約120～130メートルの距離がある。
- ・ダイヤ改正後、『市民球場前』の乗り継ぎ時間は短くなるのか。待つ場所に何もなく、35～40分待たなければいけない現行のダイヤは不便である。

【那加西】

- ・ふれあいタクシーで東海中央病院まで行けるのか。
- ・将来的に小学校の合併が考えられる。将来を見据えての改正は考えているのか。

【産業文化センター】

- ・バス車内にて最寄りの案内はあるのか。
- ・バス停の名前が標識にはついておらず、車内からバス停の場所が分からず不便である。

- ・1日乗り放題券の料金設定を安くして、お得だと思えるものにしてほしい。
- ・乗り継ぎは料金が2倍になるため、頻繁に利用する方からすれば不便である。65歳以上は無料にしてほしいという声もある。
- ・運転手不足という話があるが、運転手を増やす方策はないのか。

【稲羽】

- ・歩行器等の補助車を使用して乗車する際、どの程度の補助をしてもらえるのか。補助をもらえる場合、その旨を周知してほしい。
- ・ふれあいバスは買い物客の利用が多いと考える。そのため、イオンモール各務原に行く便を稲羽線に作ってほしい。三井町からイオンモール各務原へのバスがほしい。日中のみ運行するなど一日中ではない便を作るのはどうか。
- ・選挙に伴う無料利用券の取り組みの効果はあったのか。

【尾崎】

- ・那加線の最終便を遅くしてほしい。
- ・東西線をバロー各務原中央店に乗り入れてほしい。

【鵜沼】

- ・バスの経路を愛宕神社に通してほしい。
- ・新鵜沼駅・鵜沼宿駅のバス停での鉄道との接続ができていないのではないかと。乗り継ぎを配慮したダイヤにしてほしい。
- ・伊木山の工事が始まっているが、完成後は伊木山にもバスが通るのか。
- ・ふれあいタクシーの運賃が300円で、ふれあいバスが100円なのは、不公平ではないか。

【川島】

- ・新那加駅北口行の第1便は、朝が早くイオンモール各務原を通る必要がないと思うので、通らずに新那加駅に早く着く方が便利になると思う。
- ・渡・小網地区は買い物に行きにくいと困っている。市からスーパーなどの小売店にバスを出してもらえよう要望を出してもらえないのか。

・バスの中の掲示物について広告料を取るようにし、収入にしてはどうか。

【蘇原】

・平成 27 年以前に走っていたルートがなくなったのは不便(六軒駅周辺)。

・蘇原線を循環線にしてはどうか。

・選挙の際の無料利用券のことを知らなかった。もっと PR してほしかった。